

GMOメディア [6180・100 株] 10月23日 東証マザーズ市場上場

2015年10月5日(月)
更新: 16時54分
株式会社フィスコ

GMOグループでECメディア等を運

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★★
想定仮条件レンジ	2640円~2840円
予想PER	24.2倍~26.0倍
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	2000円~4500円
予想PER	18.3倍~41.2倍

※★印は5段階評価

日程

仮条件提示	10月6日
ブックビルディング期間	10月7日~10月14日
公開価格決定	10月15日
申込期間	10月16日~10月21日
払込日	10月22日
上場日	10月23日

類似会社 3社

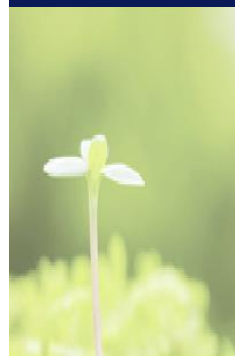
平均PER	43.6倍	→	4,759円
VOYAGE<3688>	14.6倍(連)	→	1,594円
リアルワールド<3691>	88.4倍(連)	→	9,650円
セレス<3696>	27.9倍	→	3,046円

(PERは10月2日終値の会社側予想ベース)

ECメディア及びソーシャルメディア等のインターネットメディアを運営する。運営するメディア媒体は11ブランド、登録会員数は1,933万人、スマートフォンアプリは累計4,492万ダウンロード(いずれも2015年8月末時点)。

GMOグループの直近IPOでは、昨年上場のGMO TECH<6026>やGMOリサーチ<3695>が公開価格の2倍を超える高初値を付けている。ただ、足元のIPO市場では初値買いへの警戒感が依然根強く、11/4の日本郵政グループ上場を前に需給環境も厳しい。

マザーズ案件としては中程度に位置付けられる。ベンチャーキャピタル保有株はなく、株主構成上は比較的需給良好と言えるだろう。



銘柄紹介

GMOメディア [6180・100 株] 10月23日 東証マザーズ市場上場

2015年10月5日(月)

更新: 16時54分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/12	2,663	—	178	—	154	—
2012/12	2,230	-16.3%	144	-19.0%	133	-13.5%
2013/12	2,462	10.4%	200	38.8%	269	101.2%
2014/12	3,324	35.0%	272	35.9%	146	-45.6%
2015/12 予	3,522	5.9%	318	16.7%	204	39.4%
2015/6 2Q	1,796	—	231	—	151	—
予想 EPS/配当	単独: 109.16 円(上場時発行済株式数で試算) / -円					

業績コメント

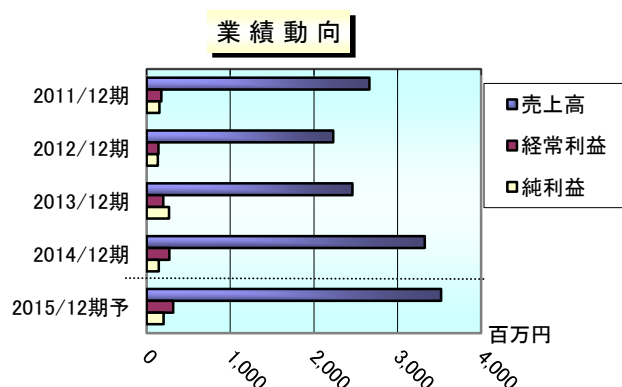
2015年12月期の業績は、売上高が前期比 5.9%増の 35.2 億円、経常利益が同 16.7%増の 3.1 億円と増収増益の見通しとなっている。

足元のインターネットメディア市場は、スマートフォンの普及や通信環境の整備等により、引き続き拡大を続けている。スマートフォン広告の市場規模 3,450 億円(対前年比 166.4%)のうち、アフィリエイト広告は 632 億円(同 166.4%)と成長を続けている(モバイル広告会社 D2C、CCI 調べ)。

このような環境のもと、同社は、媒体のスマートフォン対応をさらに進めつつ、アドネットワークの組み合わせの最適化や、アフィリエイト広告の掲載強化等、媒体の収益化を進めてきた。ECメディアにおいては、さらなる交換メニューの充実、交換スピードアップ等を通じて満足度・定着率を向上させる各種施策を実施し、その結果アクティブな会員が増加している。また、

アフィリエイト広告が好調で、売上高が堅調に成長している。

なお、通期計画に対する第2四半期末時点における進捗率は、売上高 17.9 億円で 51.0%、経常利益 2.3 億円で 72.6%となっている。



銘柄紹介

GMOメディア [6180・100 株] 10月23日 東証マザーズ市場上場

2015年10月5日(月)

更新: 16時54分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要

所在地	東京都渋谷区桜丘町
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 森 輝幸(昭和46年1月3日生)
設立	平成12年10月13日
資本金	2億6285万円(平成27年9月14日現在)
従業員数	121人(平成27年8月31日現在)
発行済株式数(上場時)	1,868,839株(予定)
公開株式数	公募396,000株 売出72,800株 (オーバーアロットメントによる売出70,300株)
想定公開規模	14.2億円~15.3億円(OA含む)
事業内容	ECメディアおよびソーシャルメディア等のインターネットメディア運営

売上高構成比率 (2014/12期実績)

品目	金額	比率
メディア事業:ECメディア	1,248 百万円	37.5 %
メディア事業:ソーシャルメディア	1,449 百万円	43.6 %
その他メディア支援事業	627 百万円	18.9 %
合計	3,324 百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	いちよし証券(株)	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

GMOメディア [6180・100 株] 10月23日 東証マザーズ市場上場

2015年10月5日(月)
更新: 16時54分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位10位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	GMOインターネット株式会社	1,136,351 株	71.81 %
2	森 輝幸	67,752 株	4.28 %
3	株式会社電通デジタル・ホールディングス	57,700 株	3.65 %
4	株式会社サイバー・コミュニケーションズ	7,400 株	0.47 %
合計		1,269,203 株	80.21 %

その他情報

手取金の使途	運営するスマートフォンアプリの認知率・ダウンロード数の向上を図るための広告宣伝費として、また、採用費・教育費として充当する予定	
関係会社	GMOインターネット株式会社（親会社）インターネット総合事業	
VC売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	-
	割当先	-
	発行価格	-

GMOメディア [6180・100 株] 10月23日 東証マザーズ市場上場

2015年10月5日(月)
更新: 16時54分
株式会社フィスコ



銘柄紹介

同社は、出版社のように多ブランドのメディアを擁してサービスを展開している。事業は「メディア事業」と「その他メディア支援事業」の2区分からなり、「メディア事業」はさらに、ECメディアとソーシャルメディアという2つのサービス群に分かれる。創業は、イスラエルの技術を活用したPCデスクトップへのメッセージ配信事業の日本国内展開から始まったが、その後GMOインターネットグループ内のメディア事業を順次集約して、現在に至っている。

この間、同社のサービスは、有益な情報収集に重点を置いたメディアから、情報発信に重点を置いたメディアにまでそのラインナップを広げ、後者の情報発信も、じっくりと作りこんだコンテンツを世の中に発表する用途で使ってもらう目的型情報発信メディア(発信に一定のハードルがあるものの、発信された情報の賞味期限は長いストック型の情報が中心)から、何気ない日常を気軽に切り取って発信するような非目的型情報発信メディア(リアルタイムなフロー型の情報が中心)にまで範囲を広げている。

同社のサービスは、ユーザーやサービスの特性に応じて、これらの要素を最適化して組み合わせ、活発な情報のやりとりが行われるようにしている。運営するメディア媒体は2015年8月末現在で11ブランド、登録会員数は1,933万人、スマートフォンアプリは累計4,492万ダウンロードに上っている。一部サービスについては、台湾・ベトナムを含むアジア圏でも展開を開始している。

(1) メディア事業

(1A) ECメディア

ECメディア事業において、同社はクライアントとユーザーの間に位置する。広告クライアントから代理店経由でサイト内に掲載された広告に対して、登録会員が申込みや購入等の一定の行動を取ることに よって発生した広告収益等と、その広告収益の一部をユーザーにポイント還元した費用との差分が、同社の主な収入となる。

(1B) ソーシャルメディア

運営するブログ、掲示板、メーリングリスト、画像コミュニティ等のソーシャルメディアプラットフォームに掲載された広告に対して、閲覧者が表示やクリック等を行うことで広告収益を得ている。

(2) その他メディア支援事業

メディア事業におけるノウハウ・システムを活用し、社外メディアの収益化を支援している。

(2A) アドシンジケート

アドネットワーク広告の自社媒体への掲載によって蓄積させてきたマネタイズのノウハウを、同社以外の第三者の媒体に対して提供し、掲載のコンサルティング及び仲介をしている。

(2B) AffiTown サービス

アフィリエイト広告を自社媒体に掲載する事によって蓄積させてきたマネタイズのノウハウや広告主とのネットワークのほか、広告管理システムなどを、同社以外の他事業者にも展開するアフィリエイトサービスプロバイダ事業である。

GMOメディア [6180・100 株] 10月23日 東証マザーズ市場上場

2015年10月5日(月)
更新: 16時54分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

直近の GMO グループの IPO では、昨年 12 月の GMO TECH<6026>が公開価格比 +135.2%、昨年10月のGMO リサーチ<3695>が同+133.3%の高初値を付けている。2社とも公開規模は10億円台と小型とは言えないが、GMO グループでは親会社が株式を一定以上保有し続けるという慣例があり、このことが市場に浸透していることも一因とみられる。ただ、足元の IPO 市場では初値買いへの警戒感が依然根強く、11/4の日本郵政グループ上場を前に需給環境も厳しい。

株式の71.81%を保有するほか、自己株式が12.87%あり、公開株式以外の市場流通株は少ないとみられる。株主構成上は比較的需給良好と言えるだろう。

同社は、「メディア事業」と「その他メディア支援事業」の2つの事業区分からなり、「メディア事業」はさらにECメディアとソーシャルメディアという2つのサービス群から構成されている。運営するメディア媒体は11ブランド、登録会員数は1,933万人、スマートフォンアプリは累計4,492万ダウンロード(いずれも2015年8月末時点)に上っており、一部サービスについては台湾・ベトナムを含むアジア圏でも展開を開始している。

業績面について、2015年12月期は売上高が前期比5.9%増の35.2億円、経常利益が同16.7%増の3.1億円と増収増益の見通しとなっている。今期予想では伸びがやや鈍化する印象もあるが、第2四半期までの進捗率は経常利益で72.6%と高い。想定仮条件水準の今期予想PERは24~26倍程度で、類似企業のセレス<3696>などと比較すれば妥当な水準と言える。

マザーズ案件としては中程度に位置付けられる。ただ、ベンチャーキャピタル保有株はなく、GMOインターネットが発行済

銘柄紹介

GMOメディア [6180・100 株] 10月23日 東証マザーズ市場上場

2015年10月5日(月)
更新: 16時54分
株式会社フィスコ

投資スタンスの見方

投資スタンスの見方		
Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性がある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券 WEB サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

■ 国内株式取引のリスク情報について

・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

■ 留意点

・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等： 株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号： 関東財務局長（金商）第44号
加入協会： 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会